

安心生活創造事業推進検討会構成メンバー

1. 推進検討会委員

1	井上英之	慶応義塾大学総合政策学部専任講師	7	小田切徳美	明治大学農学部教授
2	土屋幸巳	富士宮市福祉総合相談課参与	8	中村美安子	神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科准教授
3	永田久美子	認知症介護研究・研修東京センター副部長	9	野中博	医療法人社団博腎会野中医院院長
4	林 芳繁	全国地域包括・在宅介護支援センター協議会会長	10	前田和彦	高知県産業振興推進部地域づくり支援課課長補佐
5	宮城 孝	法政大学現代福祉学部教授	11	村田幸子	福祉ジャーナリスト
6	森 貞述	介護相談・地域づくり連絡会代表	12	和田敏明	ルーテル学院大学大学院教授

2. オブザーバー

1	厚生労働省健康局総務課地域保健室
2	厚生労働省老健局振興課
3	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域移行・障害児支援室
4	厚生労働省社会・援護局総務課
5	全国社会福祉協議会地域福祉部長 野崎吉康
6	中央共同募金会企画広報部長 島村糸子
7	日本生活協同組合連合会福祉事業推進部長 山際淳
8	全国労働者共済生活協同組合連合会経営企画部国際課課長 横溝大介
9	財団法人さわやか福祉財団政策提言プロジェクトリーダー 加藤昌之

## 平成22年度地域福祉推進市町村連絡会議日程表

月 日	時 間	内 容	
7月 26日 (月)	13:00	開会	
	13:00-13:10	社会・援護局長挨拶	
	13:10-13:15	事務連絡	
	13:15-13:45	行政説明(厚生労働省)	
	13:45-15:45	パネルディスカッション ～安心生活を生涯継続するために～ ・コーディネーター:ルーテル学院大学大学院教授 和田敏明氏 ・パネリスト:秋田県湯沢市 福祉保健部福祉課福祉施設法人化推進室参事兼室長 佐藤博氏 大阪府豊中市社会福祉協議会 地域福祉課長 勝部麗子氏 横浜市栄区公田町団地自治会 会長 大野省治氏 (株)ヤマト運輸 クロネコメンバーズ戦略部部长 佐藤英明氏	
	15:45-16:00	休憩	
	16:00-16:45	関係団体の取組説明 (16:00-16:15 ・全国社会福祉協議会 地域福祉部長 野崎吉康氏 16:15-16:30 ・中央共同募金会 企画広報部長 島村糸子氏 16:30-16:45 ・日本生活協同組合連合会 組織推進本部福祉事業推進部部长 山際淳氏	
	16:45-17:15	関係省庁の取組説明 (16:45-16:55 ・総務省 地域力創造グループ地域自立応援課課長補佐 徳大寺祥宏氏 16:55-17:05 ・国土交通省 住宅局住宅総合整備課住環境整備室企画専門官 武井佐代里氏 17:05-17:15 ・経済産業省 商務情報政策局商務流通グループ流通政策課課長 高橋直人氏	
	17:15	事務連絡	
	18:30～	情報交換会	
7月 27日 (火)	9:30-13:30	テーマ別分科会 (9:30-9:40 分科会の進め方について(厚生労働省から説明) 9:40-10:30 各市町村の現状説明(各市町村5分程度) 10:30-13:30 質疑応答・意見交換・論点整理・発表内容のまとめ ※各グループごとに適宜1時間の休憩	
	13:30-14:30	各分科会からの発表	
	14:30-15:00	総括:神奈川県立保健福祉大学 中村美安子氏	
	15:00	閉会	

# 平成22年度 地域福祉推進市町村連絡会議報告

## パネルディスカッションでの和田先生のまとめ

- 安心生活創造事業は、対象者を掘り起こし、さらに有償の仕組みを導入することによって、新しい利用者と新たな担い手を掘り起こしている。
- 新しい仕組みを創り出す創造的な事業であり、利用者のニーズに基づいて取り組む事業である。
- 行政、社協、住民、専門職、民間企業がそれぞれの立場で力を活かし合って取り組む事業である。

## 総括コメントでの中村先生のまとめ

- 地域福祉関係者の関心は、担い手の育成や仕組みづくりに重点が置かれやすく、利用者について丁寧に把握する視点は弱くなりがちである。
- 安心生活創造事業は、必要な基盤支援をしっかりと提供できるように、利用者の視点から、地域のサポートを再構築しようとする事業である。
- そのためには、利用者をよく知ること、利用者像を豊かに持てるようにすることが重要で、担当者は自ら利用者を訪問する機会をもつなど、常に利用者のニーズに敏感に反応できるようにすることが必要である。